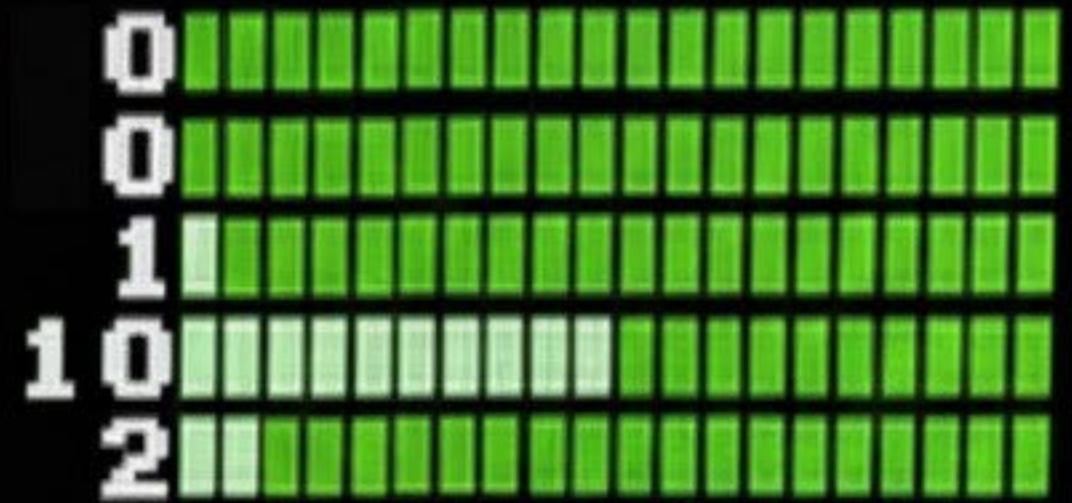




TAMOROCK LEVEL 50

◎ つよき
◎ ちりよく
◎ こうげんき
◎ きびんき
◎ うん



◆ いけいけんホ イント

1 Pts.

ドライバー
カタハウノクツ
セラミヘアー
チャバネGノヨウナジャケ

◆ ショジキン 1

アイテム

グンテ

LEVEL50

01. LEVEL50

02. September

03. LEVEL50(instrumental)

04. September(instrumental)



LEVEL 50

レベル0から名前つける 儀式終わると

旅の開始 リセマラなんてできやしない 一度限りの人生ゲーム

出会い、裏切り、別れ、愛情、難関超えて

パーティー組んで 時にはソロで苦難を超えて足跡刻め 自分の世界

戦い続け人生レベル いつの間にかレベル50

歴史を刻み 時を刻んで走り続けて輝け未来

目指せ！レベル100 目的地は誰もわからないがルールはひとつ

全力で楽しめ！自分だけのオープンワールド

レベル50辿り着いて 顔に彫られた皺の深さ

日々のたたかい物語ってる 生き抜いている、その証

オマエの敵は誰かわかるか？

外にはいない、気付いて欲しい 敵はオマエの弱い心だ

自分を倒せ！何度も倒せ！

魔物がいない平和な世界 そんなゲームも悪くないだろ？

失敗しても、やいなおしてさ 理想の世界オマエが作れ！

レベル50の主人公 よく目的地を見誤り遠回りするけど、それも人生

レベル50終わらない旅 未踏のエリア探し求めて

何を目指して、どこへ行くのか 自分で決めろ

燃え尽きるまで命尽きるまで駆け抜けろ 目指せレベル100！

全力で楽しんだ者勝ち 人生ゲーム

秋の風、肌寒い季節 心冷える ひとり、思い出の駅のホーム 夜空を見上げ

まだ大人になんてきていない わかきあの日

Uh～なぜ、あの時キミのこと見てなかった？

離れてゆく心 気が付かず過ごしていた日々 自分の世界しか見ていないガキだった

住み慣れてきた町、車窓の景色遠ざかる

全て手遅れと気が付いた時、本当の意味で大人になれた

Uh～手をとって目をみて、ボクが守ると誓った日

強くなれた気がした気でいたが、こどもの強がりであった

山と海囲まれた、キミが育った町へ 始めて降りる駅、胸躍る不安と期待

広すぎて落ちそうな夜空、光る星座 浜辺ではしゃいだり、なんにもかも別世界

ひとりが長すぎて不器用な恋愛ゴッコ、悩みがあるなんて気が付かず過ごしてた

ずっと望んでいた、初めての女性(ひと)夢うつつ

多くの初めて教えてくれた 年上なのにさ変な話した

いつまでも幸せ続くと思っていたけれど、出会って2回目の夏終わる頃、静かに幕を閉じた

“今もあなたを好きだけど、つきあえない”

理解できないまま、またひとりになった

住み慣れてきた町、車窓の景色遠ざかる

すべて手遅れと気が付いたとき、本当の意味で大人になれた

Uh～手を取り目を見て、ボクが守ると誓った日

その独り善がり、もう果たせない9月の風が吹く

